

事務事業名		救急医療情報整備事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	25	終了		
H27担当課等名		長寿支援課		H27係等名	長寿支援係		H26係等名		長寿支援係						
基本計画上の位置づけ		政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり											
		施策	35	高齢者福祉の推進											
目的	対象(誰・何を)	市内の独居高齢者										対象指標	指標名及び単位		26年度数値
	意図(どういう状態にするか)	独居高齢者宅に救急医療情報容器を整備する。											独居高齢者数	3862	
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して暮らせている高齢者の割合													
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	救急医療情報容器整備世帯数			3850	3800	4000	4000							
	定性目標														
事業概要	救急医療情報の保存を必要とする世帯へ情報収納容器を配布し、救急医療に役立てる。 1 市内の独居高齢者に情報収納容器を配布する。 2 かかりつけ医、服用中の薬剤、保険証の写し、親族連絡先等情報を調査する。 3 容器の中に救急医療情報を保管し、冷蔵庫等に保存する。 4 冷蔵庫等保存場所に、情報の所在を示す目印を表示する。 5 救急搬送時や災害時に容器の中の情報を取り出し、医療に役立てる。 6 情報整備後は、内容に変動がある度に、記載内容を更新する。 7 新たに情報保管が必要となった世帯には、容器を配布する。														
26年度事業内容	事業内容				名称				活動指標						
	市内の独居高齢者に救急医療情報キットを配布する。				容器配布数				500個						
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		491	100	91	100										
国庫支出金															
県支出金															
起債															
その他															
一般財源		491	100	91	100										
人件費計(千円)②		715		715											
正規職員所要時間		200		200											
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		1,206	100	806	100										
事業内容・目標達成状況の振り返り	大半の独居高齢者に救急医療情報キットを配布できた。救急搬送後の対応に役立ち始めている。														
改革改善の考え方	①問題点	救急医療情報等の定期的な更新方法が今後の課題。													
	②改革提案	医師会、広域消防などの救急医療に携わる関係機関から助言等を受け、救急医療情報キットの有効活用を図っていく。													